

鳥取県倉吉市と連携協定締結へ。 歴史的資源を活用した賑わいと活気あふれる エリア形成の実現に向け、10月26日(月)調印式開催。



バリューマネジメント株式会社（本社：大阪府大阪市、代表：他力野淳）は、2020年10月26日(月)、株式会社赤瓦、小川家当主齋藤信子、株式会社鳥取銀行、株式会社山陰合同銀行、倉吉信用金庫、倉吉市と、鳥取県倉吉市の小川家住宅を活用した観光まちづくりにおける連携協定を締結するので、お知らせします。連携協定の締結においては、同日調印式を開催いたします。

詳細

連携協定調印式

■日時

令和2年10月26日(月) 午後1時30分から2時15分
(集合時間 午後1時15分)
調印式終了後、記念写真の撮影を予定しております。

■開催場所

小川家住宅（倉吉市河原町1969番地）

■協定者

倉吉市・小川家当主齋藤信子
鳥取銀行・山陰合同銀行
倉吉信用金庫・株式会社赤瓦
バリューマネジメント株式会社

【連携協定の目的について】

この度の連携協定は、鳥取県倉吉市において、町家、古民家等の歴史的資源を活用した観光振興を本格化することを目的としています。連携協定者がそれぞれの強みを生かしながら、地域全体への経済波及を目指すものです。倉吉市に点在する未活用の古民家、旧店舗、歴史的文化財等を整備・改修し、宿泊施設とすることで、まち全体をホテルと見立てた分散型リゾートを実現することで観光客の誘致、滞在時間の向上を図る考えです。この連携協定の実現により完成した施設の利用を通して、地域の文化、歴史、自然といった地域資源を「観る」だけでなく「食べる」「歩く」「学ぶ」「創る」「触れる」等の様々な観光体験を提供し、まちの回遊力を向上させることで滞在時間・人口を増加させ、まちに賑わいをつくり、観光産業による経済効果を高めたいと考えています。最初のホテルへの改修の対象として、小川家住宅（県指定保護文化財）の宿泊施設等への活用・オープンを目指し、事業を推進します。

連携協定調印式のご参加につきましては、●お名前 ●貴社名 ●媒体名 ●連絡先を press@vmc.co.jp 宛にお送りくださいませ。(令和2年10月25日17:00まで)

■当社概要



「日本の文化を紡ぐ」をテーマに、文化財などの歴史的建造物やまち並みを宿泊施設・レストラン・結婚式などの事業で施設再生し、後世に残す取り組みを行っています。現在、関西を中心に22の施設を運営しており、これまで再生させた施設は30か所を超えました。

会社名 : バリューマネジメント株式会社
設立 : 2005年2月14日
代表取締役 : 他力野 淳
資本金 : 3,000万円
所在地 : 大阪府大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA 17階
事業内容 : 事業再生コンサルティング事業・新規事業開発支援・事業運営
(ウエディング会場、宿泊施設の経営・運営)
売上 : 97.8億 (2019年12月期)
従業員数 : 992名 (パート・アルバイト含む)
URL : <https://www.vmc.co.jp> (コーポレートサイト)
<https://www.vmg.co.jp> (VMGブランドサイト)

本事業について

■事業内容

倉吉市の中心市街地に位置する古民家、旧店舗といった歴史的資源を活用し、地域の観光、宿泊拠点を整備する。観光入込客の滞在時間を確保し、賑わいと活気があふれるエリア形成を図ることを目的としています。

■事業の目的

- ・倉吉市を通過型観光地から滞在型観光地へと移行させる。
- ・未活用の古民家を再整備し、想定顧客が満足する宿泊施設を運営。
- ・倉吉中心市街地全体を滞在型ホテルに変貌させ、「群体型宿泊施設」の検討を開始。

■事業の展開

倉吉市中心市街地の西の玄関口である小川家住宅がある明倫エリアから、東の玄関口である鳥取県初の美術館「鳥取県立美術館(2024年度開館予定)」までの中心市街地内の観光客滞在時間の確保に向けて、今後、観光まちづくりを官民連携にて進めていきます。本取組については、令和2年4月から施行されている「第2期倉吉市中心市街地活性化基本計画(内閣府認定)」においても重要事業として位置付けられています。

小川家住宅について



【小川家住宅】

小川家住宅は鳥取県倉吉市河原町に位置する町家で、明治後期から昭和初期に建てられました。小川家は江戸時代後期以降醸造業を生業とし、明治18年には製糸会社を創業するなど実業家として倉吉の近代化の一翼を担いました。屋敷内には伝統的な和風建築の中に接客を目的とした洋館が設けられ時代背景が窺えます。鉢屋川沿いには仕込蔵が残され、煉瓦造の煙突と相まって落ち着いた佇まいを創出しています。小川家住宅の洋館、新座敷、茶室(清和軒)を含めた主屋、道具蔵・二階蔵・三階蔵・ビン詰場・旧仕込蔵の6棟が鳥取県指定保護文化財に指定され、その他にも個人の近代庭園としては山陰屈指の庭園があり、国登録名勝・鳥取県指定名勝に指定されています。又、東方には良好な商家町並みが残され、「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区」として国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

■官民連携事業について

本協定は、鳥取県倉吉市中心市街地の観光まちづくりに関する事業を推進するため、各々が持つノウハウや業務能力等を活かした連携・協力を行うことで、地域経済の牽引と活性化を図ることを目的とする。

各協定者は、本事業の目的を達成するため、次に掲げる事項の実施に努める。

■株式会社赤瓦

事業を主体的に推進するとともに、古民家等の文化財を保存、活用した分散型宿泊施設事業を実施するためのインフラ整備を行い、当該古民家等を賃貸する(サブリース方式)。

■小川家当主齋藤信子

株式会社赤瓦が実施する鳥取県指定文化財小川家住宅を保存、活用した分散型宿泊施設事業による観光まちづくりに協力する。

■株式会社鳥取銀行、株式会社山陰合同銀行、倉吉信用金庫

株式会社赤瓦が策定し実施する事業について、専門的知見やノウハウを提供するとともに、必要に応じて金融支援(銀行法その他の法令で認められる業務に限る。)を検討する。

■倉吉市

鳥取県倉吉市の歴史的資源を保存、活用した観光まちづくりを担う株式会社赤瓦に対し、必要な指導、助言を行うとともに、事業の円滑な推進に向けての支援を検討する。

■バリューマネジメント株式会社

株式会社赤瓦から建物物件を賃借し(サブリース方式)、古民家等の文化財を保存、活用した分散型宿泊施設事業を運営する。

各協定者は、前各号に定める事項を効果的に推進するため、必要に応じて連携協議を行うものとする。



【3密を回避したレセプション、およびメディア発表会】

ご取材当日は3密を回避し、安心してご取材いただけるよう、以下の点に配慮し実施いたします。

- 各施設の除菌清掃の実施
- 施設各所にアルコール除菌の設置
- 会場受付時の検温
- ご来賓・メディアの方、および対応スタッフのマスク着用
- 式典における収容人数の制限
- 間隔をあげたソーシャルディスタンスの実現